

2021年度第1回「こども宅食」研修



長崎県で実施されている
訪問型「支援対象児童等見守り強化事業」の研修ノウハウから学ぶ

「こども宅食」における
こどもの見守りの視点と相談支援の基本

支援が届きにくい家庭を取り残さない、
新しいアプローチを皆で作って広げる

新しいアプローチで解決しなければならない2つの課題



『行政から見えない層』が支援につながらない



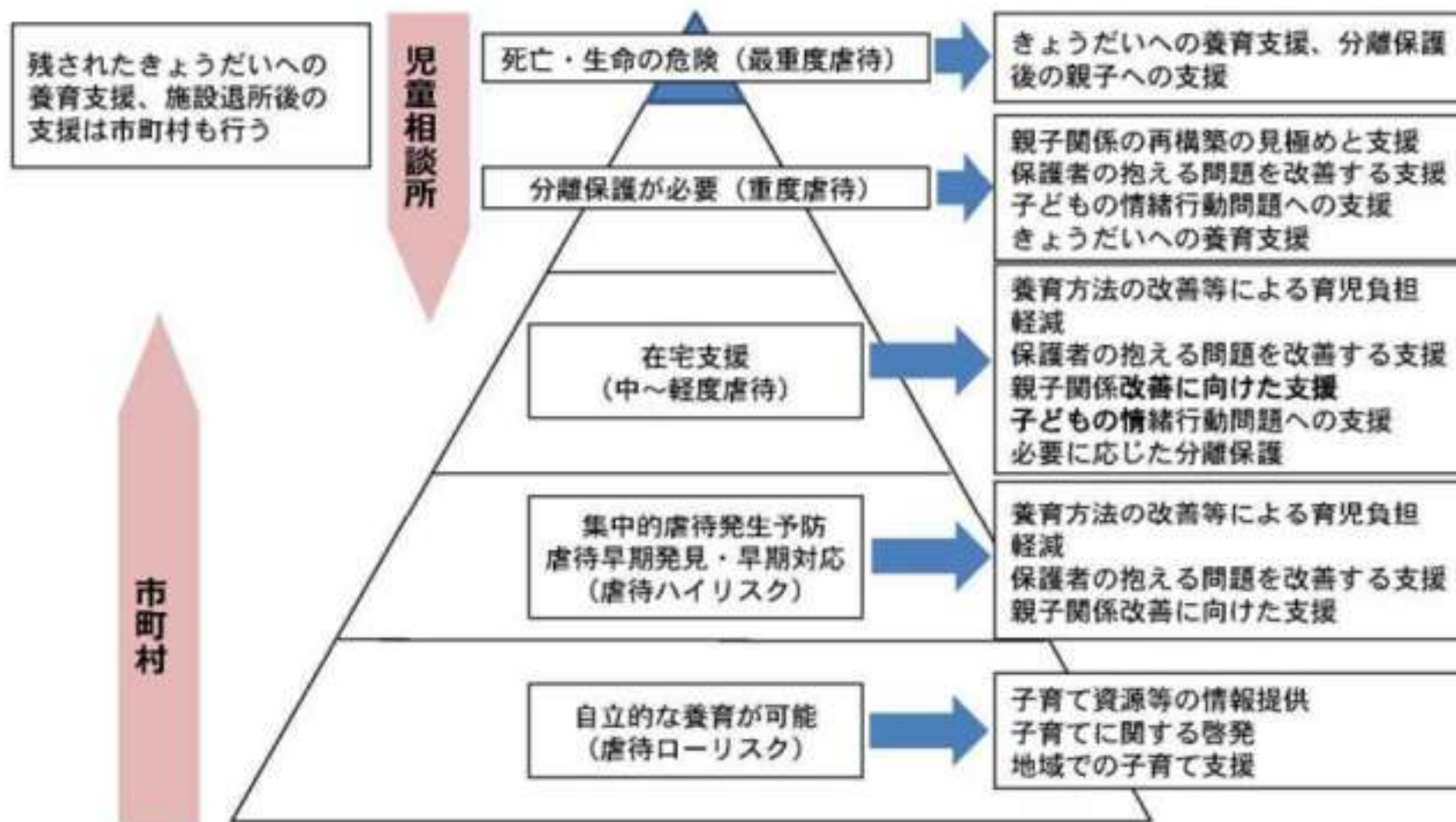
『関係構築』が足りず支援につながりにくい

『行政から見えない層』が支援につながらない

よく使われる「家庭のリスク度合いと対応策」の図

虐待の重症度等と対応内容及び児童相談所と市町村の役割

出典元：子ども虐待対応の手引き（平成25年8月改正版）



現実には「行政等が状況を把握している家庭」だけでなく
「行政や支援につながっていない家庭」が存在している。

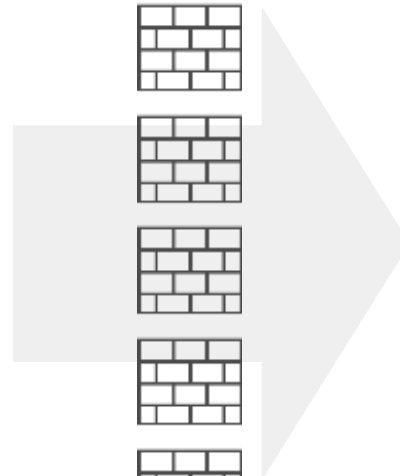


関係構築が足りず、
支援につながりにくくなっている

ニーズが分かってても、支援には簡単にはつながらない



支援ニーズ
(家庭の困りごと)



支援
(対応策)

なぜなら、支援が届きにくい様々な制約や障壁が存在するから



心理的な障壁

家計も赤字だし、子育てもうまくできていないし、人に知られたら「親として失格」と思われるのでは



周囲のまなざし

プライドなのかもしれないけど、貧しい、生活が苦しいというのは周りに知られたくなくて。



物理的な制約

仕事を掛け持ちしながら子育て。
平日に窓口に行く余裕がない。



情報の伝達

とにかく自治体の支援の情報もこちらから調べないと分からない。

支援につなぐには**利用家庭との信頼関係の構築**が重要！



「ソーシャルワーク」の視点が必要！

「こどもの見守り」 「相談支援の基本」

講師紹介

つなぐBANK～フード&グッズ～
事務局長

山本倫子 さん

長崎市、長与町、対馬市、壱岐市、雲仙市の
訪問型支援対象児童等見守り強化事業の
実施団体の事務局、アドバイザーを務める

- 長崎市版こども”宅所”
つなぐBANK事務局長
- 長崎県ひとり親家庭等自立促進
センターセンター長（※長崎県子どもの貧困総合相
談窓口／長崎県にんしんSOS相談窓口など）
- 元・長崎県社会福祉協議会勤務





「こども宅食」における こどもの見守りの視点と相談支援の基本

長崎県子どもの貧困対策統括コーディネーター 山本倫子



子どもの見守り 強化事業とは



支援対象児童等見守り強化事業

令和2年度第3次補正予算：36億円（児童虐待・DV対策等総合支援事業）

目的

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まっていることから、市町村の要保護児童対策地域協議会が中核となって、子ども食堂や子どもに対する宅食等の支援を行う民間団体等も含めた様々な地域ネットワークを総動員し、支援ニーズの高い子ども等を見守り、必要な支援につなげることができる体制の強化を推進する必要がある。また、未就園児は、地域の目が届きにくく、子どもの状況を把握することが困難な場合もあることから、母子保健施策等の必要な支援につなげるための取組を強化する必要がある。
- そのため、要保護児童対策地域協議会の支援対象児童等として登録されている子ども等の居宅を訪問するなどし、状況の把握や食事の提供、学習・生活指導支援等を通じた子どもの見守り体制を強化する「支援対象児童等見守り強化事業」について、安定的実施に向けて、引き続き財政支援を行う。

補助基準額

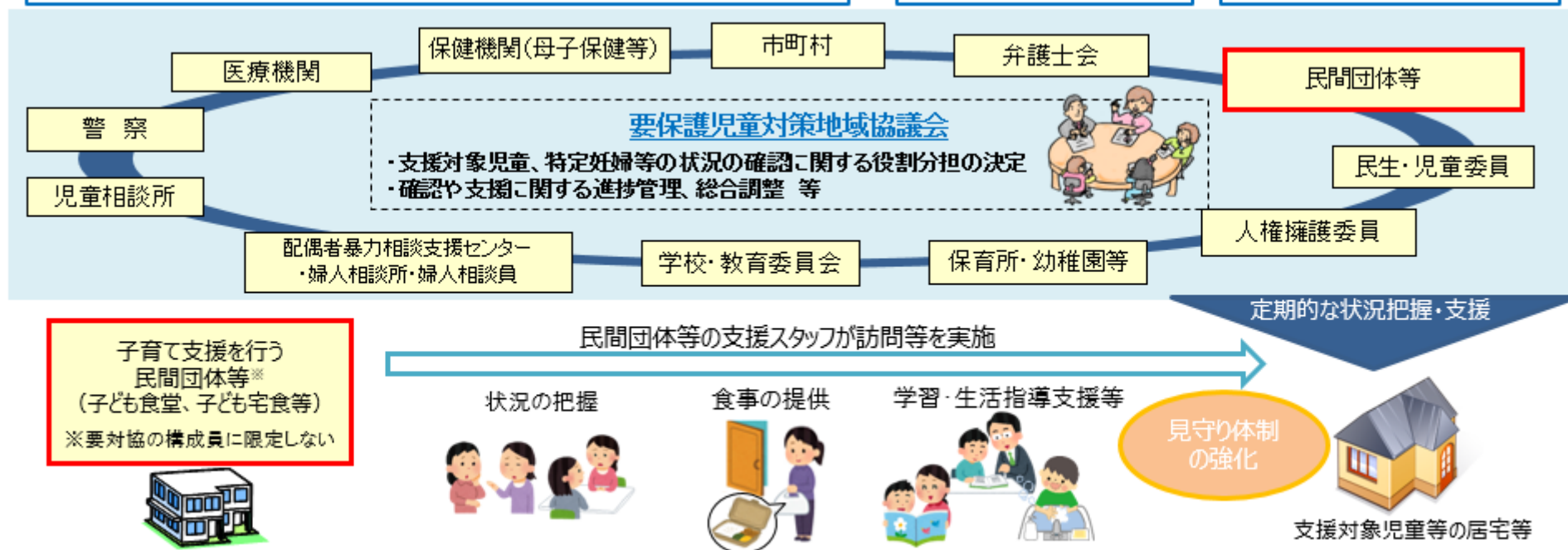
1か所当たり：9,723千円
※民間団体等の支援スタッフの person 費、訪問経費など事業実施に係る経費

補助率

国：10/10（定額）

実施主体

市町村（特別区含む）



見守りとは・・・

3つの見守りがある

児童相談所等



専門的な
見守り

担当によ
る見守り

要対協担当



緩やかな
見守り

民間



見守の視点

この事業は「子ども」の支援

子どもから見て家庭を考える

ただ・・・親の気持ちを置いていかない

見守るハイリスク家庭とは・・・

・

ハイリスク家庭とは

様々な状況の中、特に養育支援が必要な家庭

・

養育支援が必要な家庭とは

- ・妊娠期から養育支援を特に必要とする家庭
- ・新生児訪問や検診等で特に養育が必要とする家庭
- ・新生児訪問や検診等を受けない家庭
- ・DVが行われている家庭で特に養育支援が必要な家庭・

養育支援が必要な家庭とは

- ・精神疾患および障がいを抱える家庭で特に養育支援が必要な家庭
- ・生活困窮世帯で、特に養育支援が必要な家庭
- ・地域で孤立し、特に養育支援が必要な家庭
- ・子育てに不安を訴える家庭で、特に養育支援が必要な家庭

今回の支援で大切な事

保護者の受入れ意思がある事

※無理はダメ

※良い事業でも保護者にとってはどうか・・・

今回の支援で大切な事

この支援の目的は・・・

保護者がより良い子どもへの関り方を知り
これまでの関りを少しでも改善し
子どもの生活が守られること

今回の支援で大切な事

行政等の直接支援と強化事業の見守り支援

お互いの動きを理解し目的を同じにする

直接支援と見守り

直接支援者・・・目標に向かって

- ①信頼関係を作る
- ②子どもや育児に関する意識の変化
- ③適切な養育方法の提案
- ④適切な養育の助言・指導
- ⑤養育の変化を誉める

直接支援と見守り

直接支援者・・・目標に向かって

①信頼関係を作る

- ・保護者の話を共感的に受け止める
- ・保護者が相談できる存在になる

直接支援と見守り

直接支援者・・・目標に向かって

②子どもや育児に関する意識の変化

- ・信頼関係の中で、一般的な子どもの育児について話す
- ・押しつけがましくなく話す

直接支援と見守り

直接支援者・・・目標に向かって

③適切な養育方法の提案

- ・保護者に一般的な育児と、自分の育児の差に気付かせる
- ・これまでの養育を批判せず養育方法を提案

直接支援と見守り

直接支援者・・・目標に向かって

④適切な養育の助言・指導

- ・行動を変化させたいという意欲が見えたときに
- ・出来そうなところから一緒に実際に始める

直接支援と見守り

直接支援者・・・目標に向かって

⑤養育の変化を誉める

- ・養育に変化が見えたら、出来るだけ早い段階で評価し
誉める・・・持続しやすくなる

直接支援と見守り

見守り支援者・直接支援者と同じ目標理解

- ①何の目的で
- ②誰が
- ③どういう方法で

直接支援と見守り

①何の目的で

(例) 家事や育児の状況把握

子どもへの体罰の再発防止

子どもの状態把握

直接支援と見守り

①誰が

(例) 見守り支援員

民生委員

近所の方

見守り支援

① どのような方法で

(例) 訪問して話を聞く

電話して様子を聞く

LINEして様子を聞く

今回の見守り支援

◎ 食材等を提供する時に話を聞く

食材や備品を渡すときに目視をする

玄関先か家の中か・・・その家庭に応じて

必ず子どもが居るときに伺う

今回の見守り支援

◎ 何を渡せばよいのか

行政の要対協の個別担当者が家庭に聞く

各家庭に合わせて内容を変更する

各家庭に合わせた日時に

今回の見守り支援

◎ 訪問は最初はどうすればよいのか・・

行政の要対協の個別担当者と訪問

各家庭に合わせて行政が行くかを検討

見守り支援は 2 人組で行うことが重要

今回の見守り支援

◎ 何でも言われたことをするのか

見守り支援は「食材等を渡す」をきっかけに

子どもの様子・家庭の様子を目視することが重要

※掃除や買い物等業務と違うことは行わない

今回の見守り支援

◎ 何を話せばよいのか

持ってきた食材の内容

次の食材等は何が良いか・天気・体調等

そこから生活の話に入る

今回の見守り支援

◎ 子どものどんなことを目視するのか

顔色が良くない

いつもお腹を空かせている

発育の遅れ 体重が増えない

今回の見守り支援

休み明けに体重の増減が激しい

肌が乾燥している

虫歯がある 治療していない

今回の見守り支援

風邪や怪我が治りにくい

臭いがしたり衣服が汚れている

季節に合わないものを着ている

今回の見守り支援

靴がボロボロ サイズが合っていない

散髪にっていない

表情が乏しい 話さない 笑わない

今回の見守り支援

家の話をさける

話の内容にビクつく 親の顔色を見る

帰ることに異常なまでに反応する

今回の見守り支援

家の話をさける

話の内容にビクつく 親の顔色を見る

帰ることに異常なまでに反応する

今回の見守り支援

◎ 児童虐待と思われる事案

明らかな外傷がないか

打撲傷、あざ（内出血）、骨折、刺傷、やけど

今回の見守り支援

事故でけがをしやすい部位



虐待によるけが多い部位



今回の見守り支援

◎ネグレクトと思われる事案

病気でも病院に連れて行かない

乳幼児を残して外出

子どもの意に反して学校に行かせない

今回の見守り支援

子どもの情緒的欲求に答えてない（愛情遮断）

適切な食事を与えてない

下着などが不潔のまま

極端に不潔の中での生活

今回の見守り支援

明らかな外傷がないか

打撲傷、あざ（内出血）、骨折、刺傷、やけど

生命身体に関わるネグレクトがないか

今回の見守り支援

◎ 性的虐待と思われる事案

大人が触れることを極度に嫌がる

大人に対して執拗にベタベタする

体の成長や体の部位を見せたがる

今回の見守り支援

子どもの見守りには親の見守りが大切

今回の見守り支援

◎ 保護者のどんなことを目視するのか

子どもに関する話に不自然なところがある

子どもの養育に拒否的で無関心

子どもの服装には無頓着だが、自分には気を使っている

今回の見守り支援

子どもへのしつけが厳しすぎる

子どもに対する言葉遣いが荒い

養育能力が低い（家事・育児能力不足）

今回の見守り支援

育児や子育てに疲れている

身内やの周りとの交流がない

他者の介入に拒否的

相談支援の基礎を頭に置く

相談支援の基本

相談時の姿勢 ※初めての訪問

- どこまで聞いていいのか
- 深刻な話になった場合、どう対応して良いのか
- 自信がないと、聞くことに臆病になる

相談支援の基本

- 聞き手の力量が問われて難しい
- 障がいにな慣れで、基本的な対応がわからない
- 相手のペースになり、相談内容の本質が聴き取れない

相談支援の基本

面接訪問支援は難しいか・・・何を感じるか

- 人と人の共有される時間・空間
- 人と人との間に交わされる言葉・意味

相談支援の基本

- 経験・技法・想像力・言語の不足
- 生身の人間である相談者自身の揺れ・ブレ
- 解決策が見えないつらさ

相談支援の基本

訪問面接基本技法

①促しの技法

アイコンタクト、うなづく、相づちを打つ

②繰り返しの技法

感情表現をリフレインし言語化する

相談支援の基本

③要約の技法

発言内容を要約し内容を焦点化する

④解釈の技法

因果関係を解釈し認識を深める

⑤共感の技法

現在・過去の感情に言葉で共感する

相談支援の基本

⑥保証の技法

共感と評価により安心感を担保する

⑦対決の技法

前言・言動・感情の矛盾・不一致を気付く

⑧沈黙の技法

沈黙を活用し本人の言葉を待つ

相談支援の基本

⑨明確化の技法

言い換えたり話題を修正して明確化

⑩質問の技法

閉じた質問と開かれた質問の違い

⑪リフレーミング技法

状況のネガ／ポジを反転する

子どもの貧困 早期発見チェックリスト 支援フロー図

本誌をはじめ『子どもの貧困』
に関する情報は県HPで！

長崎県 子どもの貧困

検索



2020年7月発行

子どもの貧困早期発見チェックリスト（判断基準）

☑子どもの貧困にかかわる主な傾向を意識するための
チェックリストで、**あくまで目安**です。

☑見落としやすい、経済的理由によって生活上の困難を
抱える子どもに**気づく目安**にしてください。

☑気になる子どもがいた場合には、職場内で共有し、
支援につなぐきっかけにしてください。

●子どもの様子

主な傾向			想定される家庭の状況
身 体 ・ 健 康	1	<input type="checkbox"/> 乳幼児の場合、下痢気味であったり、便の中に不消化物が多い。また、咀嚼せずに飲み込むように食べる。	離乳期・幼児期の発達に応じた食事内容や回数を用意できず、大人と同じものを食べているため、消化できていないのかもしれない。
	2	<input type="checkbox"/> 特別な病気がないのに、身長や体重の増えが悪い。	食費を切り詰めなければならない状況であったり、家庭のなかで、十分な食事が取れていない（栄養状態が悪い）のかもしれない。
	3	<input type="checkbox"/> 長期休暇（夏休みなど）明けに体重の変動が多い。	
	4	<input type="checkbox"/> 特別な病気がないのに、顔色が良くない。 （ <input type="checkbox"/> 朝食を食べていない <input type="checkbox"/> 夕食を食べていない <input type="checkbox"/> 水分不足 等）	
	5	<input type="checkbox"/> 風邪やケガで医療機関の受診が必要と思われるが受診していない。	診察代を工面することができなかったり、医療費の補助制度を知らないのかもしれない。
	6	<input type="checkbox"/> 虫歯があり、促しても治療につながらない。	
	7	<input type="checkbox"/> 皮膚疾患があるが、通院・治療につなぐににくい。 （ <input type="checkbox"/> あせも <input type="checkbox"/> 虫刺され <input type="checkbox"/> アトピー <input type="checkbox"/> 水いぼ <input type="checkbox"/> とびひ 等）	
清 潔	8	<input type="checkbox"/> 散髪に行っていない。	散髪代を工面することができない、または保護者が子どもの状態に無関心なのかもしれない。
	9	<input type="checkbox"/> 季節外れの服や、いつも同じ服を着ている。	必要な服や靴を購入することが困難でサイズの合っていない服や靴を身に着けなければならないのかもしれない。
	10	<input type="checkbox"/> 衣服のみでなく靴がボロボロ、サイズにあったものを買っていない。	
	11	<input type="checkbox"/> 洗濯をしていないようで、衣服が清潔ではない。	洗濯ができず、同じ服を着ざるを得ない状況があるのかもしれない。
	12	<input type="checkbox"/> 入浴していないようで、頭髪がベタベタしている。	清潔さを保つのに必要な回数、お風呂を沸かし、入浴することができないのかもしれない。
	13	<input type="checkbox"/> オムツが汚れているのに長時間替えられていないため、おしりがかぶれている。	オムツ代を工面することができない状況があるのかもしれない。

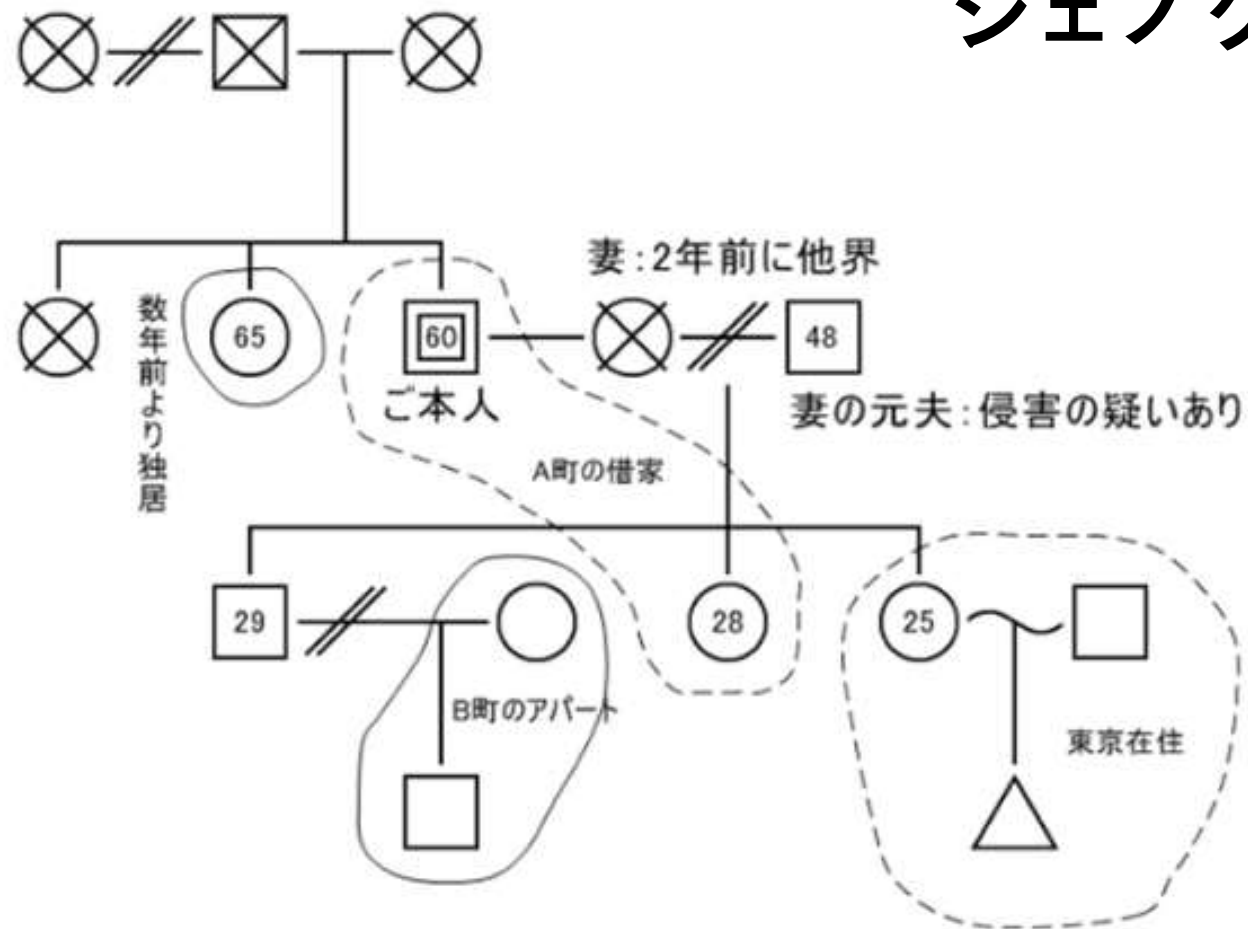
相談支援の基本

ジェノグラム・エコマップで整理する

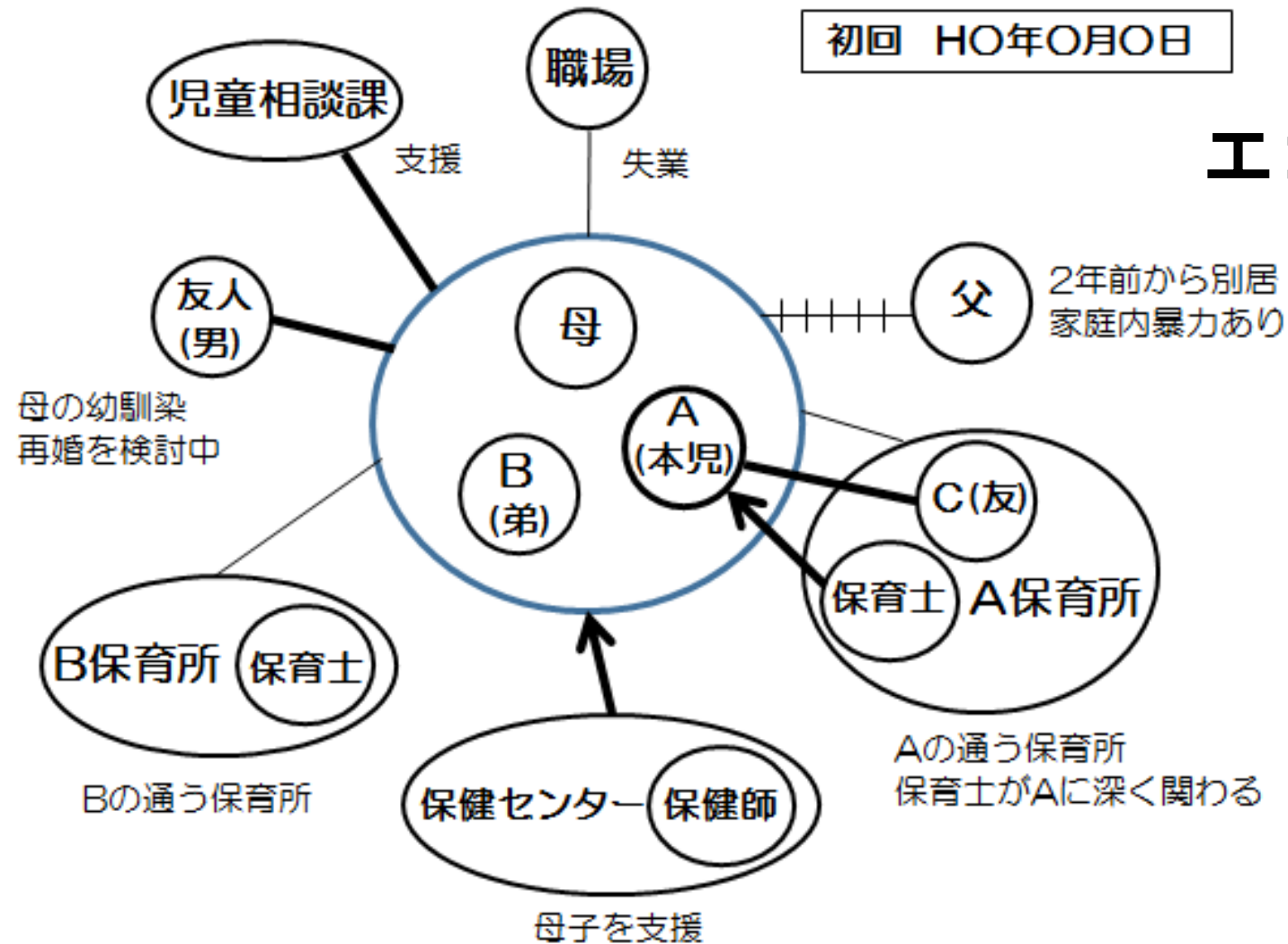
- ①誰が見てもわかるように記載をする。
- ②関わっている人・関係機関を明確化する
- ③整理することで相談者の問題を明確化する

相談支援の基本

ジェノグラム



相談支援の基本



相談支援の基本

多角的視点を持つ

「虫の目」

「鳥の目」

「魚の目」

相談支援の基本

「虫の目」

複眼 「近づいて」さまざまな角度から物事を見る

「鳥の目」

高い位置から「俯瞰的に全体を見回して」見る

「魚の目」

潮の流れや干潮満潮という「流れ」を見失うな

最後に・・・

自分たちで解決すると思わず

無理をせず・抱え込まず

要対協と連携して家庭を支える気持ちで



私たちが動く事で子どもの笑顔を守ろう！！

